

創造物からエホバのことをもっと知る

「神の見えない性質は、世界の創造以来明らかです。造られた物を見れば……分かります」。[ヨハネ福音書 1:20](#)

6番の歌 エホバをたたえる

何を学ぶか*太陽のようなダイナミックなものから、花びらのような繊細なものまで、エホバの創造物は感動を与えます。エホバが造った物を見ると、エホバがどんな方かを知ることができます。この記事では、時間を取ってエホバの創造物をよく観察するとよいのはどうしてか、そうすることでどのようにエホバに引き寄せられるかを考えます

1. ヨブはどのようにしてエホバについてもっとよく知るようになりましたか。

ヨブはエホバと会話するという特別な経験をしました。エホバは創造物の素晴らしさにヨブの注意を向けさせました。そして、ご自分の知恵や、ご自分に仕える人たちに良いものをたくさん与えているということを教えました。その会話を通してヨブは、エホバが動物たちを養っているのであれば自分自身も支えてくれる、ということを理解しました。（[ヨブ 38:39-41](#) あなたはライオンのために獲物を狩ることができるか。若いライオンの食欲を満たせるか。40 ライオンがすみかに身を潜め、隠れ場で横になって待ち伏せする時に。41 誰がワタリガラスに食べ物を備えるのか。ワタリガラスの子が、食べ物がなくてさよない、神に助けを求めて叫ぶ時に；[39:1](#) あなたは山ヤギが子を産む時を知っているか。鹿が子を産むのを見たことがあるか、[5](#) 誰が野口バ(*オナガ)を自由にし、野口バの綱を解いたか、[13-16](#) ダチョウは翼を楽しげに羽ばたかせる。しかし、その翼はコウノトリの羽や羽毛にかなうだろうか。14 ダチョウは卵を地面に残し、土の中でそれを温める。15 何かにそれが踏まれることや、野生動物に踏みつけられることを考えはしない。16 ダチョウは自分のひなを荒く扱う。自分の子ではないかのように。苦労が無駄になることを気にしない）こうしてヨブは、創造物からエホバがどんな方かをもっとよく知るようになりました。

2. 創造物をじっくり観察するのが簡単ではないはどうですか。

2 私たちも創造物をじっくり観察するなら、エホバについてもっとよく知ることができます。でも、そうするのが簡単ではないこともあります。都会に住んでいると、自然に触れる機会がそもそも少ないかもしれません。自然が豊かな所に住んでいても、忙しくてじっくり観察する時間がないかもしれません。では、これから次の点を考えてみましょう。①時間を取って創造物を観察するとよいのはどうしてでしょうか。②エホバと③イエスは創造物を通してどんな大切なことを教えましたか。③創造物からエホバについてもっとよく知るためにどんなことができるでしょうか

①創造物を観察するとよいのはどうしてか



エホバはアダムに、創造物を観察して名前を付けるというやりがいのある仕事を与えた。（3節を参照。）

3. エホバはご自分の造った物をアダムに楽しんではほしいと思っていました。どうしてそう言えますか。

3 エホバはご自分が造った物をアダムに楽しんではほしいと思っていました。アダムをエデンの園に住ませ、そこを耕して美しいパラダイスを広げていく仕事を与えました。（創2:8, 9 さらにエホバ神は東方のエデンに庭園を造り、自分が形作った人をそこに置いた。9 エホバ神は、食べられる実を付けるさまざま美しい木が地面から生えるようにし、庭園の真ん中に命の木を生えさせた。また、善惡の知識の木を生えさせた、15 エホバ神は人をエデンの園に住ませた。そこを耕させ、管理させるためだった）アダムは植物が芽を出したり花を咲かせたりする様子を見て、目を輝かせたことでしょう。エデンの園を管理するのはとても楽しい仕事だったはずです。さらに、エホバは動物に名前を付ける仕事も与えました。（創2:19, 20 さて、地面からさまざまな野生動物と空を飛ぶ生き物を形作ったエホバ神は、生き物たちを人の所に連れてきて、人がそれを何と呼ぶかを知ろうとした。そして、人が呼んだ名がその生き物の名前になった。20 人はあらゆる家畜と空を飛ぶ生き物と野生動物に名前を付けたが、人には補って助けてくれる人がいなかった）ご自分でその仕事をすることもできましたが、アダムに任せたのです。アダムはそれぞれの動物の特徴や習性をよく観察して名前を付けていったに違いありません。これはとてもやりがいのある仕事だったことでしょう。エホバの知恵や芸術的センスをもっと知る機会にもなりました。

4. （ア）創造物を観察するとよいのはどうしてですか。（イ）創造物の中であなたが特に素晴らしいと思う物は何ですか。

4 創造物をじっくり観察するとよいのはどうしてでしょうか。1つの理由は、（ア）エホバが望んでいることだからです。エホバはこう言いました。「天を見上げてみなさい。誰がこれらの物を創造したのか」。（イザ40:26 天を見上げてみなさい。誰がこれらの物を創造したのか。星の軍勢を数え上げて率いている者である。その者は全ての星を名で呼ぶ。膨大な活力(*動的エネルギー)と驚異的な力を持っているので、一つとして欠ける星はない）天だけでなく地球にも、エホバが造った素晴らしい物があふれています。（詩104:24, 25 エホバ、あなたの偉業は何と多いのだろう。あなたは知恵によって全てを造った。地球はあなたが造ったもので満ちている。25 海はとても大きく、広い。数え切れないほどの生き物がいる。小さいものも、大きいものも）そしてエホバは、自然の美しさに感動する気持ちを私たちに持たせてくださいました。多種多様な創造物を楽しめるよう、視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚といった五感も与えてくださいました。（イ）水：極性があり特殊な物質だが、地上に沢山あり生命維持に欠かせず

5. ローマ1章20節によると、エホバが造った物からどんなことが分かりますか。

5 聖書は創造物を観察するとよい別の理由を説明しています。それは、創造物を通してエホバがどのような方かを知ることができるということです。（ローマ1:20 神の見えない性質は、世界の創造以来明らかです。造られた物を見れば、神が永遠に力を持っていて、確かに神であるということが分かります。ですから、彼らは言い訳ができませんを読む。）例えば、自然が見事に設計されていることについて考えると、エホバが知恵のある方だということが分かります。また、いろいろな種類の食べ物を楽しめるようにしてくださっていることを考えると、エホバが私たちのことを愛してくださっていることが分かります。創造物を観察してエホバがどんな方が分かると、エホバにもっと引き寄せられます。では、エホバが創造物を通してどんな大切な点を教えてくださっているか、考えてみましょう。

②エホバは創造物を通してご自分について教えてている

6. 渡り鳥を観察するとどんなことを学べますか。

6 エホバは時を定めている。イスラエルでは毎年2月の終わりから5月の中ごろにかけて、コウノトリが北に向かって渡りをする様子を見ることができました。エホバはイスラエル人にこう言いました。「空を飛ぶコウノトリでさえ、季節を知っている」。（エレ8:7 空を飛ぶコウノトリでさえ、季節(*定められた時)を知っている。ヤマバト、アマツバメ、ツグミ(if*鶴)も、渡りの(*戻る)時を守る。しかし、私の民はエホバが裁く時を理解していない）エホバは、コウノトリが渡りをする時期を決めているのと同じように、裁きの時も正確に定めています。私たちは渡り鳥を観察する時、エホバがご自分の「定められた時」に今の悪い世界を必ず滅ぼす、ということを確信できます。（ハバ2:3 この幻は定められた時のためのもので、終わり(*実現)に向かって急いでおり、偽りではない。たとえ遅れるとしても(*遅れているように思えても)，待ち続けよ(*心から待ち望め)。必ずその通りになるからである。遅くなることはない！）

7. 鳥が飛ぶ様子からどんなことを学べますか。（イザヤ40:31）

7 エホバは力を与えてくださる。エホバはイザヤを通して、落胆している人たちに力を与えることを約束しました。ワシが「翼を広げて舞い上がる」かのように元気を取り戻せるのです。（イザヤ40:31 しかし、希望を抱いてエホバを待つ人は、再び力を得る。ワシのように翼を広げて舞い上がる。走っても弱ることがなく、歩いても疲れ果てないを読む。）昔のイスラエル人は、ワシが上昇気流に乗って、ほとんど羽ばたかずに舞い上がる様子をよく目にしました。エホバはワシに力を与えるのと同じように、ご自分に仕える人たちにも力を与えてくださいます。私たちは鳥が翼を大きく広げて人々と空を飛ぶ様子を見る時、エホバが私たちにも問題を乗り越える力を与えてくださるということを思い起こせます。

8. ヨブはエホバが造った物からどんなことを学びましたか。私たちはどんなことを学べますか。

8 エホバは信頼できる。エホバは、ヨブがご自分に対する信頼を深めることができるように助けました。（ヨブ32:2さて、ラムの氏族のブズの子孫、バラクエルの子エリフは怒りに燃えた。なぜなら、ヨブが神の正しさよりも自分の正しさを証明しようとしたからだった。40:6-8そこでエホバは暴風の中からヨブに言った。

7 「男らしく、私の問い合わせに向き合ってみなさい。私はあなたに質問しよう。あなたは私に答えなさい。8 あなたは、私の公正さに疑問を投げ掛ける(*を無効にする)のか。自分の正しさのために、私を有罪呼ばわりするのか」 ヨブとの会話の中で、星や雲や稻妻など、ご自分が造った物について話しました。また、野牛や馬など動物にも注目するようにと言いました。（ヨブ 38:32-35 あなたは季節に沿って星座(d*マザロト)を引き出せるか。アシ星座(おおぐま座のことかも)とその子たちを導くことができるか。33 あなたは天体(d*天)を統御する法則を知っているか。天体(if*神)に働き掛けて地上に影響を及ぼすようにできるか。34 声を上げて雲に話し掛け、雨を洪水のように降らせることができるか。35 稲妻を送り出すことができるか。それはあなたの所に来て、『ここにあります』と言うか；39:9 野牛はあなたに自分から仕えるだろうか。あなたの牛小屋(*飼い葉おけ)で夜を過ごすだろうか，19, 20 馬に強さを与えるのはあなたなのか。さらさらと鳴るたてがみを首にまとわせるのはあなたなのか。20 あなたは馬をバッタのように跳びはねさせることができるか。馬の荒々しい鼻息は恐ろしい）こうした創造物を観察すると、エホバの並外れた力だけでなく、深い愛や知恵についても分かります。ヨブはこの会話を通して、エホバをいつそう信頼できるようになりました。（ヨブ 42:1-6 ヨブはそれを聞いてエホバに言った。2 「私は今分かりました。あなたは何でも行うことができる方です。あなたが行おうとすることで、あなたに不可能なことはありません。3 あなたはこうおっしゃいました。『知らないのに、私の考えを覆い隠しているのは誰か』。私は話しましたが、分かっていました。あまりにも素晴らしい事実を理解していました。4 こうもおっしゃいました。『どうか聞いてほしい。私が話そう。あなたに質問しよう。あなたは私に答えなさい』。5 あなたのことを耳で聞いてはいましたが、今ではあなたをこの目で見ております。6 それで、言ったことを撤回し、後悔して土と灰をかぶります」）私たちも創造物をじっくり観察すると、エホバが私たちよりはるかに賢くて力のある方であることを学べます。また、私たちが経験している問題全てを必ずなくしてくれることも確信できます。こうしたことを考えると、エホバへの信頼がいっそう強まります。

③イエスは創造物からエホバについて教えた

9-10. 太陽と雨からエホバについてどんなことを学べますか。

9 イエスは自然界について詳しく知っていました。エホバが宇宙を創造した時、イエスは「優れた働き手」としてエホバと一緒に働きました。（格 8:30 その時、私は優れた働き手として神のそばにいた。私は毎日、神が深い愛情を抱く存在で、いつも神の前で喜んだ）地上にいた時には、創造物からエホバについて教えました。どんなことを教えたか、見てみましょう。

10 エホバは全ての人に愛を示す。イエスは山上の垂訓の中で弟子たちに、太陽と雨の恵みについて話しました。太陽も雨も私たちが生きていく上でなくてはならないものですが、多くの人は当たり前のものと考えています。エホバはご自分に仕える人たちだけに太陽や雨の恵みを与えることもできましたが、そうはせず、全ての人に与えることによって愛を示しています。（マタ 5:43-45 あなたたちは、こう命じられたのを知っています。『隣人を愛し、敵を憎まなければならない』。44 しかし私は言います。敵を愛し続け、迫害する人のために祈り続けなさい。45 自分が天にいる父の子であることを示すためです。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださるのです）イエスはこの例を使って、エホバは弟子たちにも全ての人に対して愛を示すことを望んでいる、ということを教えました。私たちは美しい夕日が沈む景色や爽やかな雨が降るのを見る時、エホバの公平

な愛について思い起こせます。そして、エホバに倣って全ての人に愛を示し、良い知らせを伝えたいという気持ちになります。

11. 鳥を観察するとどんなことを確信できますか。

11 エホバは生きていくのに必要なものを与えてくださる。イエスは山上の垂訓の中でこう言いました。「鳥をよく観察しなさい。種をまいたり、刈り取ったり、倉に集めたりはしません。それでも天の父は鳥を養っています」。この時、イエスの話を聞いていた人たちの上を鳥が飛んでいたかもしれません。そしてイエスはこう問い合わせます。「あなたたちはそれよりも価値があるのではないか」と。（←マタ 6:26）イエスはこのようにして、エホバが私たちを養ってくださることを温かく教えました。（マタ 6:31, 32 それで、心配して、『何を食べるのか』、『何を飲むのか』、『何を着るのか』などと言ってはなりません。32 これら全ては異国の人々が必死に求めているものです。天の父は、あなたたちがこうしたもの全てを必要としていることを知っています）創造物から学べるこの教訓は、今でも兄弟姉妹にとって励ましとなっています。スペインに住むある若い開拓者の姉妹は、ふさわしい住まいが見つからなくてがっかりしていました。でも、鳥たちが木の実や種をついばんでいるのを見て、元気が出ました。こう言っています。「エホバは鳥たちを養っているのだから、私のことも必ず世話してくださるはずだと思いました」。それから間もなく、姉妹は無事ふさわしい住まいを見つけることができました。

12. マタイ 10 章 29-31 節によると、イエスはスズメを引き合いに出してどんなことを教えましたか。

12 エホバは私たち一人一人を大切に思っている。イエスは使徒たちを伝道に送り出す前に、反対に遭っても恐れなくていいということを教えました。（マタイ 10:29-31 スズメ 2 羽は小額の硬貨 1 枚で売っていませんか。それでも、その 1 羽でさえ、天の父が知らないうちに地面に落ちることはありません。30 ところが、あなたたちは髪の毛まで全て数えられています。31 ですから、恐れることはありません。あなたたちはたくさんスズメより価値があるのを読む。）イエスはスズメを引き合いに出して、そのことを説明しました。スズメはイスラエルの人たちにとって見慣れた鳥で、価値が小さく、安く売られていました。でもイエスはこう言いました。「その 1 羽でさえ、天の父が知らないうちに地面に落ちることはありません。……あなたたちはたくさんのスズメより価値があるのです」。エホバが一人一人を大切に思ってくれているので迫害を怖がる必要はない、と教えました。使徒たちは町や村で伝道している時、スズメを見てイエスの言葉を思い出したはずです。私たちもスズメを見る時、自分は「たくさんのスズメより価値があ」り、エホバが大切に思ってくれているということを思い出しましょう。エホバが助けてくれるので、反対に遭っても勇気を持って立ち向かうことができます。（詩 118:6 エホバは私の側にいてくださる。私は恐れない。人が私に何を行えるだろう）

④創造物からエホバのことをもっと知るにはどうしたらいいか

13. 創造物からエホバについて学ぶには、どうする必要がありますか。

13 創造物からエホバについてもっと多くのことを学ぶには、どうしたらいいでしょうか。まず、創造物を観察する時間を取りましょう。そして、そこからエホバについてどんなことが学べるか

、じっくり考えましょう。でも、そうするのは簡単ではないかもしれません。カメリーンのジエラルディン姉妹はこう言います。「私は都会で育ったので、自然を観察するには意識的な努力が必要です」。長者のアルфонソ兄弟もこう言います。「創造物を観察し、エホバについてじっくり考えるには、一人になれる時間をちゃんとつくる必要があると思いました」。



ダビデは創造物を観察し、エホバについて学べることをじっくり考えた。（14節を参照。）

14. ダビデはエホバが造った物について思い巡らし、どんなことを学びましたか。

14 ダビデもエホバが造った物についてじっくり考えました。こう言っています。「あなたが指で造った天を仰ぎ、あなたが並べた月や星を眺めて思う。死にゆく人間が何者なのであなたは心に留めてくださるのか」。（詩 8:3, 4 あなたが指で造った天を仰ぎ、あなたが並べた月や星を眺めて思う。4 死にゆく人間が何者なのであなたは心に留めてくださるのか。人の子が何者なので気に掛けてくださるのか）ダビデは夜空を眺めて、宇宙の広さに感動しただけではありません。月や星からエホバについて学べることをじっくり考え、エホバがどれほど偉大な方がを知りました。また別の時には、胎児が母親のおなかの中でどのように成長していくかについても思い巡らし、エホバの深い知恵に心を打たれました。（詩 139:14-17 私はあなたを賛美します。私は、驚くほどに素晴らしい造られているからです。あなたが行ったことの素晴らしさを、私はよく知っています。15 人知れず私が造られた時、大地の深い所で織り上げられた(*胎内で成長した)時、私の骨はあなたから隠されませんでした。16 あなたの目は胎児の私を見ました。私のあらゆる部分があなたの書に書かれました。それらが形作られる日々のことが、まだどの部分もできていない時に書かれました。17 神よ、あなたの考えは何と貴いのでしょうか。何と膨大なのでしょう）

15. 私たちの周りにあるどんな物からエホバについて知ることができますか。（詩編 148:7-10）

15 ダビデと同じように、私たちも周りに少し目を向けるだけで、創造物からエホバについてたくさんのこと学べます。例えば、太陽の暖かさを感じる時、エホバが力にあふれた方であることが分かります。（エレ 31:35 エホバは太陽を与えて昼の光とし、月や星の法則(*法令)を定めて夜の光とし、海をかき回して波を荒立たせる。大軍を率いるエホバという名を持つその方はこう言う）鳥が巣を作っているのを見ると、エホバの知恵を知ることができます。子犬が自分のしっぽを追い掛けている姿を見て、エホバのユーモアのセンスを感じます。お母さんが赤ちゃんと遊んでいる様子を見ると、エホバが優しい方であることを感じます。エホバについて学べる機会はたくさんあります。エホバが造った小さな物も大きな物も、近くにある物も遠くにある物も、全てエホバを賛美し、エホバに

について教えてくれるのです。（[詩編 148:7-10](#) 地球からエホバを賛美せよ。海の大きな生き物と全ての水の深みよ、8 稲妻、ひょう、雪、厚い雲よ、神の言葉を実行する暴風よ、9 山々と全ての丘よ、果樹と全ての杉よ、10 野生動物と全ての家畜よ、地面を動く生き物と翼のある鳥よ、を読む。）

16. エホバについてもっと知るために、どうしたいと思いませんか。

16 エホバはとても賢く、思いやりがあり、力の強い方です。芸術的センスにあふれる方でもあります。そのことは創造物を見るとよく分かります。ぜひ時間を取って創造物を観察し、エホバがどんな方がをじっくり考へるようにしましょう。そうするならエホバに引き寄せられ、エホバをもっと愛するようになります。（[ヤコ 4:8](#) 神に近づいてください。そうすれば、神は近づいてくださいます。罪人たち、手を清めてください。優柔不断な人たち、心を清めてください）では親は、子供がエホバをもっと愛せるようになるために、創造物からどのように教えることができるでしょうか。その点については次の記事で考えます。

どのように答えますか

1. 創造物を観察する時間を取りよのはどうしてですか。

・S04-05 エホバが望んでいること（イザ 40:26）で、エホバがどのような方がを知ることができます（ローマ 1:20）。沢山の教え、励ましや助けを得られる。

2. エホバとイエスは創造物を通してどんな大切なことを教えましたか。

- ・S06 エホバは時を定めている。（コウノトリでさえ、季節（*定められた時）を知っている）エホバがご自分の「定められた時」に今の悪い世界を必ず滅ぼす、ということを確信できる。
- ・S07 エホバは力を与えてくださる。（ワシのように翼を広げて舞い上がる）エホバが私たちにも問題を乗り越える力を与えてくださるということを思い起こせる。
- ・S08 エホバは信頼できる。（あなたに不可能なことはありません）エホバが私たちよりはるかに賢くて力のある方であることを学べ、私たちが経験している問題全てを必ずなくしてくれることも確信でき、エホバへの信頼がいっそう強まる。
- ・S10 エホバは全ての人に愛を示す。（悪人にも太陽を昇らせ、正しくない人にも雨を降らせ）エホバの公平な愛に倣って全ての人に愛を示し、良い知らせを伝えたい。
- ・S11 エホバは生きていくのに必要なものを与えてくださる。（天の鳥を養っておられる）どんな状況でも私たちのことも必ず世話してください。
- ・S12 エホバは私たち一人一人を大切に思っている。（あなたたちはたくさんのスズメより価値がある）エホバが助けてくださるので、反対に遭っても勇気を持って立ち向かえる。

3. 創造物からエホバのことをもっと知るにはどうしたらいいですか。

- ・S13 創造物を観察する時間を取り、そこからエホバについてどんなことが学べるか、じっくり考へる。自然を観察するには意識的な努力し、一人になれる時間をちゃんとつくることも必要。
- ・S14 私たちもダビデに倣いエホバが造った物についてじっくり考へ、エホバの偉大さや深い知恵に感動する必要がある。
- ・S15-16 私たちも周りに少し目を向けるだけで、創造物からエホバについて、知恵やユーモアや優しさ、芸術的センスなど沢山のことを学べる。

5番の歌 エホバは素晴らしい創造者